

各施設長様

第17回 保育部会研究委員会報告書

浜田市保育連盟会長 煙艸 のぞみ		保育部会長 松浦 清美		
開催日時	令和7年11月10日(月) 14:00~16:45	開催場所	総合福祉センター ボランティア室	記録者 廣瀬 由香 (うみかぜこども園)
出席園	みのり第2・三隅・くもぎ・浜田ひかり・うみかぜ		欠席園	おぐに みのり第2(廣瀬)

《協議内容》

◎保育部会長の松浦先生を交えて4月からの研究の流れや取り組みを伝える

◎各項目についての取り組み、実践などの意見・情報交換

◎県大会に参加して感じたことや参考にしたいこと

○4月からの研究の流れや取り組みについて

- ・「未満児の主体性とは何か」をテーマに掲げ、当たり前とされていた保育の在り方を見直す必要性について話し合いを重ねてきた。
- ・18園に「子ども主体の保育について」のアンケート調査を行う。その結果から子どもの現状を把握して話し合い、0・1歳児の主体性とは何かと考える。
そこで、主体性保育を取り入れた施設に視察研修を行う。
視察研修を終えて4つの柱を決めて(生活・あそび、異年齢とのかかわり、アタッチメント、子どもの姿からの語り合い)を各園(6園)で取り組んでいく。
取り組んだことを記録に残し事例をためていき、内容について検討しているところである。

○取り組みや実践について(取り組んだことで感じたこと)

- ・子どもの主体性を大切にするが、主導権は大人が持つようとする。
- ・クラス単位の保育になっていないか?クラスの枠を外して保育をする工夫をする。
- ・園内研修や他の園の取り組みを見ることで保育の進め方が変わってくるのではないか。
- ・いろいろな実践をして子どもの反応を見るのも面白いのではないか。

○県大会で参考にしたいこと

- ・これまでの保育と今の保育、何がどんな風に変わったのか園長会でポスターセッションをしてみるのもいいのではないか。

◎アドバイザー…新宿せいが子ども園 森口達也先生に依頼

○次回研究委員会

1月 日にちは未定(森口先生と顔合わせも兼ねてみたい)

今まで各項目を決めて進めていたが、4つの柱どの項目も各園で記録を取り
次回持ち寄り、情報交換していく(動画もあるとよい)

以上